



この町で、この地で笑って老いたい ~そのために今すべきこと~

【まち協だより】

令和6年7月号

電話(FAX) 82-0933

発行:山上まちづくりの会事務局

【地域振興部】

●ホテル乃国おもてなし活動 ありがとうございます。

6月27日から7月9日までのホテルおもてなし活動が無事終わりました。2,315人(うち町民319人)の方が観賞され、町外からも観光バス会社が5社、延べ17台を迎え入れました。夜のおもてなし活動で身体的にもきつい中、皆様大変お疲れ様でした。交通規制もありご不便もおかけしたと思いますが、これからもよろしく願いいたします。疲れが出ないようにご自愛ください。また、盆明けまでは蒸し暑い日が続きます、屋外作業の際は十分に給水して熱中症にお気をつけください。



●山上『花火打ち上げ』8月12日 (水・振替休日) 夜8時 開催!

8月12日(水・振替休日)の夜8時に花火の打ち上げを行います。盆踊りはせず、花火打ち上げだけ行われます。今年はお盆前の8月10日、11日、12日が休日です。帰省された方と一緒に花火をお楽しみください。

また夜6時30分から7時30分頃まで懸日谷集会所の駐車場で栗饅頭も販売します。

1パック4個入り500円で売切れたら終わりにしますので早めにお買い求めください。

(お釣りのいらぬようお願いいたします)

今年の花火は、昨年いただいた花火寄付金で打ち上げます。そのため、今年花火の寄付は集めません。

●役員運営委員会が7月26日(金) 18時30分から開催されます。

山上地域振興センター移転、交流活性化交付金事業(山上ちょこっと応援隊)、延期していた合同環境作業の日時などについて話し合われます。

各地域振興センター(各地域の拠点施設)については、令和6年6月21日付けて公共施設等に係る町の基本方針が出されました。町の基本方針は、長寿命化を第一とし、老朽化した施設は廃止も検討、更新が必要な施設は集約化、複合化の検討を行うことと定めています。山上、日野上、大宮は今年度方向性を検討し、代替施設確保を第一に協議することとなりました。

妻、マスと共に歩む教師への道

明治二十八年春、師範学校しはんを卒業すると、母校である日野高等小学校の先生としてつとめることになりました。この時の教え子に、後の文芸評論家の生田ぶんげいひょうろんか長江きやうごうや京都大学名誉教授の松原厚まつばらあつし、文学博士の入沢宗寿いりざわそうじゆ、日展作家香田勝太こうだかつたなどがあります。

このころ日本は日清戦争にっしんせんそうといつて、中国との間で戦争をしていました。そこで岩雄も姫路ひめじの

連隊れんたいに六週間入隊しましたが、その時の訓練中くんれんちゆうにころんで胸を打ったのがもとで肋膜炎ろくまくえんをおこしてしまいました。

両親は、岩雄の健康を心配して、丈夫なお嫁さんをもらつて早く落ち着いた生活をさせようと考えました。そこであちこち探して、広島県の東城とうじやうという町からマスというお嫁さんを迎えることにしました。マスは、その年の冬、中国山脈さんみやくを越えて嫁入りしてきました。

これよりのち、マスは強い

意志と健康な体とで、よく岩雄を助けて、五人の子どもを育ててきました。

